

学校再編に関する座談会結果報告書

1 開催状況

開催日時	会 場	参加人員
1月30日(月)午後7時から	農村環境改善センター多目的ホール	32人
2月 6日(月)午後7時から		17人
合 計		49人

2 座談会で出された意見等

[問い] どの案が良いですか？

案1が良い。

4件

- 現状維持でよい。母校がなくなるのは嫌だ。
- 母校を残してほしいので
- 地域の文化、地域づくりのために
- 地域が過疎化する。町内に中央と地方をつくってしまう。朝子供が歩いているだけで活性化する。いかに分散させるか。

案2が良い。

12件

- 小学校の良さをそのまま残せるから
- 小学校は、各校で特色があり、地域と仲が良い。しかし、経費や設備・施設を考えると、何らかの統合も必要
- 中学校の部活動を考えると中学校は統合した方がいい。
- 案2から段階的に再編を進めて、小学校の統合を考えると良いのでは
- 小学校は子供が少ない学校でもいい。中学校は人数が多い方が学校がメリットあり。少子化対策を進めてほしい。
- どの案にしたら良いか迷うが・・・
- 中学校を再編したのち、小学校も段階的に再編した方がいい。そのときは、川南小学校を分散させてはどうか。
- まずは、案2でスタートし、最終的には案3へ
- 小学校は、近隣校合同で行事を行ってもよいのでは。
- 少子化の状況を知って驚いた。小学校は段階的に考えていけばよい。
- 山本小がなくなるのは嫌だ。地域の衰退につながる。分校にしても残してほしい。
- 案2でスタートし案3へ進む。中学校で専門外の先生に教えてもらうと学力伸びないのではないか。

案3が良い

10件

- 小学校2校、中学校1校でちょうど良い。
- 複式学級は避けたい。少人数の学校の児童がかわいそう。
- 学校施設の建替えが必要な時期が来ることやコストを考えると案3がいい。施設の内容を充実させてほしい。
- 案3でスタートし、案4で小学校を1校に、最後は一貫校を1つにする。
- 子どもの数を考えると。ある程度人数がいた方が活気が出る。
- まず案3で再編し、案4へ移行する。
- 川南小学校から一部国光原中学校になる。どうせなら校区の一貫校がよい。
- 部活動を考えると中学校は1つ
- 部活動を考えるとこれがいい。いじめにあったとき逃げる場所としては2校あった方がいい。小学校低学年のTT（チーム・ティーチング）はとてもよい。
- 部活動を考えると

案4が良い。

4件

- 複式学級は避けたい。少人数の学校の児童がかわいそう。
- 部活動も活発になるし、クラス替えも楽しみ。案3ではクラス替えできない。
- 10年後は予想以上に児童生徒の数が減ると思う。
- 人口減少のため案4でもいいかな
- 将来を見れば案4

案5が良い。

9件

- 案5にも期待できる。
- 部活動は合同で
- 校舎、グラウンドが使用できる。
- 案5で校区を見直して、均等な人数に
- 唐瀬原中学校と国光原中学校の生徒数が均衡するように校区の見直しをする。
- 目先で考えれば案5
- 国光原中学校校区で一貫校が望ましい。どうせ通る道だから。
- 地域に子供がいなくなるのは寂しい。
- 学力向上と地域コミュニティを考えて。小・中学校を先生が自由に動ける。

座談会で出された意見

[再編方法に関すること]

- 中学校を先に再編して、段階的に小学校の再編を
- 案4や案5を見据えた施設整備を行うべき。
- 複式学級になることが不安
- 案3、案4、案5作る場所で意見が変わってくる。
- 町の中心部に設置する中学校の場所は
- 場所によって意見が変わってくるのでは。
- 学校を町の中心部に設置して、利便性の良いものにしてほしい。
- 小中一貫校のメリット、デメリットが分からない。
- 小中一貫校という案にびっくりした。
- 一貫校のメリットを聞いてみたい。
- 小中一貫校を3校できないか。
- 小中一貫校のメリット・デメリットなどの情報がない。
- 小中一貫校なら数を均等に
- 小中一貫校の良さを調査する必要がある。
- 案4は、小学校の子供が多すぎるし、遠くなりすぎる。
- 人数が減少する中で、案1、案2は考えられない。
- 今のままでは案4になってしまう。
- 小学校を統合すると、地域の活力がなくなるが、子供の競争心がなくなるのは困る。分校の検討はどうか。
- 再編には経過措置が必要、段階的に再編した方がいい。
- 再編は、段階的にやればいい。
- 中学校区域の分け方がキツイ
- 校区割は見直せないのか。
- 川南小学校を分割すると良い。
- 町の人口分布で検討してほしい。
- 国光原中学校校区の人口では、再編しても1学年1学級
- 全国の先進地を参考にすべき。
- 町全体で協議すべき
- 若い世代や幅広い層の参加が必要
- 施設の老朽化で建替えが必要であれば、1つにまとめる方がいいのでは。
- 中学校は早く統合してほしい。

[再編の考え方]

- 複式学級になるのは避けたい。
- 複式学級になることが不安

- 再編しないと複式学級の不安がある。それよりは再編した方がいい。
- 人口の見通しを聞いたら、かわいそうなところもある。
- 自分がクラスで女子一人だったら寂しい。
- 基準に合わなくなったのであれば、仕方がない部分もある。
- クラス替えができる人数は必要
- 人が少ないとグループから外れると学校に行きたくなくなる。
- せめて1学年2クラスの学校がいい。
- 人数が少ないと不安
- 児童が少なく不便を感じたことがない。小さい学校の方がいい。
- 高校、大学を考えた場合ある程度の人数の学校の方が良い。
- 子供に選択肢を増やしてあげたいので、ある程度の人数は必要
- 中学校は2クラス編制の人数が望ましい。小学校は現状で
- 部活関係で大規模校の方がメリットがある。
- 中学校は、部活動を考えると1つがいい。
- 部活の選択肢が少ない。子供がバトミントンがしたい。中学校は生徒が多い方が良い。
- 中学校は、人数が多い方がいい。
- 中学校は1校でも良いが、小学校は距離が問題
- 私立中学校が優秀な子を引っ張っていく。町内に残るようにするためにも中学校の再編が必要
- 再編した場合に人口が減るのでは。学校が遠く、不便があると住みたくなくなるのではないか。便利の良い所を求めるのでは
- 登下校を自分でしなければ親がいないときの過ごし方を知らないで育つ。自力でやっている子供に思わせることが大事
- 小学校は、そのままが良い。地域の人口が減る。
- 現在でも通学距離が4キロで遠い。
- 子供達に歩いて登校してほしいところもある。
- スクールバスになれば、子供達は喜ぶ。
- アンケート結果をみても、興味のなさを見ても再編していいということではないか。
- 同級生が多い方が、同窓会は盛り上がる。
- 学校規模が大きくなると教員の加配が期待できる。
- 町の財政シミュレーションの説明もほしい。
- 費用はどうなるのか。
- 子供が中学校になるころに再編なら良い。
- 素案を3年後くらいに出してほしい。
- 小規模校の良さは、1年から6年までが連携しているところ
- 小規模校のメリットは児童全員が顔を知っている。小規模校のデメリットは部活が限定される。入りたい部活がない場合他校と合同でできないか。
- 目指す人材の在り方で変わってくる。偏差値の高い学校に行くのか、将来かわみなみで活躍するのか。

[再編の際に気をつけてほしいことや不安]

- 教育的には少人数が良いと思う。人数が多くなると色々な問題が起こりそう。
- 中学校になると不登校にならないか不安。小さな小学校から中学校に行くのと萎縮するのではないか。
- いじめや人間関係の不安がある。通学に関しては徒歩でしてほしい。
- 再編しても、少人数学級にすれば保護者の不安が減る。
- 学級の人数は、町独自で決められないのか。
- 1学級20人程度が理想
- 小学校には、TT（ティーム・ティーチング）を推進してほしい。
- 先生の数が心配
- 教科外指導では学力が心配
- 教科外指導は、教育の質が下がるのではないか。学力を上げてほしい。
- 学力向上に努めてほしい。
- 人数が増えることによって、先生が目が届かなくなってしまうように気を付けてほしい。
- 少人数学級で再編をお願いしたい。先生が目が届く。中学生の通学が不安なので、夜遅くなったときの待機所があるといい。
- 国県の基準では対応できないところを町独自でできないか。
- 再編により、学力差、いじめがないように対策をしてほしい。
- 地域が寂れる。自分の住んでいるところに愛着がなくなる。
- 子供に地域の人とのつながりを
- 学校無くすと人口減少するのでは。地区の人がいなくなり、年寄りばかりになる。
- 学校がなくなると、地域が寂しくなるので、活用を検討してほしい。
- 学校跡地に学校を誘致しては
- 自治公民館の在り方は、考えたのか。高齢者が元気に通える学校
- 地域の活性化案がでているのか。地域の高齢者が元気になるような
- 地域の密着度が薄まる。
- 小学校1校、中学校1校で中央に人が集まり、地域が廃れる。
- 再編にデメリットはあまり感じない。規模が大きくなっても地域とのつながりが保てるようにしてほしい。
- 自治公民館と学校の関わりが見えない。子どもに係る行事がなくなった。小学校地区の行事を沢山やらせたい。
- 土日は、地域・家庭に子どもを返してほしい。
- 児童クラブも大きくなれば運営のことも気になる。通学距離も気がかり。施設整備、トイレの洋式化も気になる。
- 児童クラブは、学校・自治公民館のそばがいい。
- 子供を預ける場も確保してほしい。
- 児童クラブを充実させると親は安心
- 児童クラブは地域ごとに
- 通学方法の確保をしてほしい。先生が目が届くように対応してほしい。

- 中学校を1つにした場合、通学距離のある生徒の待機所があると良い。安心できる体制づくりが必要
- スクールバスの本数が気になる。
- スクールバスの運営、PTA活動、末端まで情報・活動が行き届くか心配
- 学校を利便性の高い施設にしてほしい。

[その他の意見]

- 町営住宅政策もバランスを考えて
- 人口減少の推移を考えると学校再編を考える前に何かやる必要があるのでは。
- 都会のまねをしても仕方がない。田舎の良さを生かしていかないと
- 人口が減らなければ再編はいらない。魅力があれば川南に住んで子育てをしてくれる。
- 人が集まるように学校の周りに住宅がほしい。
- 子育て支援をしてほしい。児童クラブの環境整備

資料

川南町立学校再編に関する座談会（第2回）で示した再編案

案1 再編しない。

案2 中学校を1校に再編する（小学校は再編しない。）
両中学校を統合し、町の中央部に中学校を設置する。

案3 小学校2校、中学校1校に再編する。
唐瀬原中学校跡地に同中学校区域の小学校を設置し、国光原中学校跡地に同中学校校区の小学校を設置する。両中学校を統合し、町の中央部に中学校を設置する。

案4 小学校1校、中学校1校に再編する。
全小学校を統合し、町の中央部に小学校を設置する。両中学校を統合し、町の中央部に設置する。

案5 小・中一貫校（義務教育学校）2校に再編する。
唐瀬原中学校校区に同中学校を校区とする小・中一貫校を設置する。
国光原中学校校区に同中学校を校区とする小・中一貫校を設置する。